



## 特別支援教育支援員研修

11月19日(金)、稚内市生涯学習総合支援センター(風〜る大研修室)において、特別支援教育支援員研修会を開催いたしました。

今回の研修会は7月に行った特別支援教育研修会とは別に、管内の特別支援教育に携わる支援員さんと教職員を対象とし行いました。悪天候の中、講師、関係者を含め教職員や支援員さん、20名の参加がありました。

始めに、主催者を代表して稚内市教育委員会 表教育長より開催にあたっての挨拶がありました。その後、講師の本間正博教育相談所所長より「子どもの発達の理解と支援について」と題して講話をしていただきました。講話は子どもの発達とその支援について、具体的な事例をもとに、いくつかのケースをわかりやすく話していただきました。

### ○講話の内容

- ・支援対象・配慮が必要な子どもたちには、従来の知的障害、発達障害等の子ども達の他に、コロナ禍の影響による困り感を抱えている子、人一倍敏感な子、ゲーム依存等の子どもも増えてきている。
- ・コロナ禍の影響で、不登校の子どもが増えている。
- ・「困っている子ども」の中に、発達障害を始め、様々な症状を抱えている子どもがいる。
- ・発達障害の子ども、発達上の特性を抱えている子どもの「発達の状況」に目を向け、その子の「生きづらさ」を理解し支援することを目指す。
- ・発達障害には、「自閉症スペクトラム症(自閉症、自閉傾向、広汎性発達障害、アスペルガー症候群)」「学習障害、ADHD」等がある。
- ・子どもの発達段階(発達過程)の便宜的な発達区分(乳児期、幼児期、児童期、青年期)から質的变化(高次化)が見られてきている。
- ・学校での日常の気になる子どものサインとして、「集中できない、じっとしていることが苦手」「他の子をたたく、ける」「反抗的・暴力的な態度/悲観的な感情」「姿勢が崩れる/手先が不器用/全身運動が苦手」「話すこと、聞くことが苦手/読むこと、書くことが苦手」「こだわりや執着/気持ちの切り替え/変化への対応」等が見られる。
- チーム学校としての取組と福祉・医療とつながる支援体制をもとめて
  - ・学校では、子どもとつながる担任(学年)、支援員、養護教諭、指導部(教務部)、コーディネーター、教頭、校長がケース会議で課題共有と支援の方向性を検討すること。
  - ・切れ目のない発達支援を実現するために、幼保から小学校へ、小学校から中学校へ、必要に応じて多様な学びへ移行できるようサポートすること。
  - ・福祉と医療とつながる支援体制の構築(各自治体の課題)



後半は、稚内市の支援員さん、豊富町の支援員さんと本間相談所所長、船木教育研究所所長、植木宗谷教育研修センター長、植木就学前教育アドバイザーを交えてグループ協議に入りました。潮見地区と南地区は中学校区のグループを、その他の参加者の方々でもうひとつグループを作り、それぞれの学校の様子や、子どもの理解と実践上の悩み、疑問等の交流が行われました。

最後に、植木宗谷教育研修センター長の閉会の挨拶が行われ、無事に終了しました。

## 《 参加者の感想から 》



- ◆今回、初めてこのような研修に参加させて頂きました。支援員を始めてからは、子どもたちが何に困っているのか、どうして欲しいのかなど、その時の気持ちを理解しようといつも心がけていますが、なかなか思うようにいかない時の方が多く、色々考えたり悩んだりしていました。今回の研修では、改めて「発達障害」や「子供たちとのかわり方」をお聴きし、モヤモヤした気持ちが少しスッキリして、何となく新しい考え方が見えてきたような感じになりました。特に、交流の時間に、本間所長と色々お話をさせて頂いた中で、「情報」と「連携」のお話をお聴きし、改めて「良い情報と悪い情報」を学校内で共有して、「広い範囲で連携する」ことが特別支援に必要であることを実感しました。機会がありまら、また、参加させて頂きます。ありがとうございました。
- ◆校区ごとの話し合い、とても参考になることが多かったです。研修会で勉強できる機会はとても貴重な時間です。と同時に同じ校区の支援員さんとのつながりも大切だなと思いました。勉強メインの研修会の他に”交流会“のような話し合いが出来る場もあると嬉しいなと思いました。

## 幌延小 英語 de トライ

Let's Study! Let's Study! Let's Study!



11月10日(水)、幌延町立幌延小学校よりALT派遣授業依頼があり、教育活動「英語 de トライ」に稚内教育研究所よりALTジェイコブ先生とメリー先生が出席しました。

管内のALTの先生が7名(幌延町・猿払町・浜頓別町・中頓町・稚内市)、各担当教諭4名が参加されました。体育館で幌延小のALTの先生、幌延小学校担当教諭、幌延小5・6年生の温かい歓迎を受け、参加されたALTの先生方から自己紹介しました。

その後、3・4時間目の授業は6年生における「スモールトークやアクティビティへの参加」と題し、グループに分かれて、英語で児童が自己紹介をしました。最初は恥ずかしげだった児童たちでしたが、ALTの先生方とにこやかに接している内に会話が弾んでいきました。アクティビティとして、児童が各グループで旅行代理店になり、ALTの先生がお客として訪れました。支店長・接客係などの担当を決めて、お薦めの街や特産品の説明など、ALTの先生と交流しながら、スモールトークでジェスチャーやアイコンタクトなどを使いグループで協力してトライしました。笑い声や会話がとても弾んでいました。

昼食後、5・6時間目の授業は5年生における「児童との英語でのコミュニケーション活動」と題し、スタンプラリーで道案内をグループごとに行われました。児童は基本英語でALTの先生方に、理解してもらう為にカードを使って一所懸命コミュニケーションを取って、最後にALTの先生に買い物をしてもらいました。

その後、5年生とALTの先生方や関係者全員で、スポーツレクとしてドッチボールなどをして、すっかり打ち解けて、カー杯楽しんで汗を流しました。

最後に児童より感想発表、全員で記念撮影を行いました。ALTの先生方からは、「とても楽しく児童とスモールトークにトライ出来て良かった。授業の参考になった。」と話があり、無事に終了しました。

幌延小学校の塩原校長・俵教頭・宮古支援員さん・担当教諭の皆様の日頃からの熱心な取組やご指導を、「英語 de トライ」の授業で垣間見る事ができました。



## お知らせ !!

## 新ALT (ミエラニ)

12月に南アフリカ共和国より来稚の予定でした、新ALTミエラニが、コロナウイルス(オミクロン株)感染拡大の為、来日が出来なくなりました。今後の予定は、未定の状況です。

※1月~3月ALT派遣予定は、2人体制が暫く続きますので、ご協力お願い致します!!



## 冬休みグングン塾のお知らせ

下記の通り3日間の日程で行います。

5年生 12/27(月) 中央小・潮見小・南小・東小

3・4年生 1/11(火)・12日(水) 中央小・潮見小

3.4年生 1/13(木)・14日(金) 南小・東小

## 寄贈本

北海道教育カウンセラー協会代表大友秀人先生よりご献本です。執筆はすべて北海道の先生です。

※お読みになりたい方は、教育研究所に、お問い合わせください。

